

たかしま

Takashima City
Public Relations

広報

2018

平成30年

10月号

No. 225

高島市役所 本庁舎「新館」完成



主な
内容

特集1 本庁舎「新館」が完成 ②

平成30年9月4日台風襲来

特集2 高島市に残した爪痕と支援体制 ... ⑥

・スポーツの秋を満喫しましょう! ⑪

無料アプリ「マチイロ」で広報たかしまが読めます!

「広報たかしま」はスマートフォンアプリ「マチイロ」でも配信しています。
スマートフォン等から当アプリをダウンロードしてお使いください。

※アプリのダウンロードは無料ですが、
通信費は利用者のご負担になります。

マチイロ

検索

高島市公式

フェイスブック
Facebook

インスタグラム
Instagram

で情報発信中!

こちらの名前でそれぞれ検索してご登録をお願いします。

・Facebook「あっと高島」 ・Instagram「takashima city #たかP写真館」



イメージキャラクター
「たかP」

特集1 本庁舎「新館」が完成

問財産管理課
(25) 8112

10月9日(火) から一部業務開始

【新館の概要】
構造：鉄骨造3階建て
基礎：直接基礎
延床面積：4,296.86㎡

新館の基本コンセプト

『高島の豊かな自然をつなぐ
まぎぶりの拠点整備』

自然と人やまちをつなぎ、未来の高島を創出する開かれた新館

市民サービススペースを1階フロアに集約した施設構成で利便性に優れています。
また、新館と本館を渡り廊下でつなぐことで、連携しやすくします。

力強く、自然災害にも対応する新館

新館は、現行基準の最高レベルを有した耐震構造で、ライフラインが途絶しても持続できる、災害対策拠点にふさわしい施設です。
大規模地震や風水害などを想定した高度な防災拠点機能を備え、通常業務から、迅速に非常時体制を整えることができる建物性能を確保します。

地域の風土と人々の生活の関わりを大切に継承し、未来を支える新館

建築物の省エネルギー化を図るため、安曇川水系からの潤沢な地下水、卓越風、自然採光など地域特性を極力活用した環境技術を導入し、環境負荷や将来の維持管理コストを抑えます。

平成27年度から計画を進めてきました、市役所本庁舎新館（以下「新館」）が完成しました。これに伴い、市民の皆さんの利便性向上や、防災機能の一元化を図るため、現在分散している市役所機能を、平成31年5月までに、一か所に集約します。

【集約スケジュール】

引っ越し①

10月6日①～14日②
本館内にある35の部署が、一旦全て新館に引っ越します。
※今回の引っ越しによる電話番号の変更はありません。
◎平成31年4月までの新館内の部署配置は、4～5ページで紹介しています。

本館改修工事

引っ越し①完了後、本館の改修工事を行います。
◎改修工事中の工事区域と駐車場は次ページをご覧ください。

引っ越し②

【平成31年4月末予定】
本館改修工事完了後、新館に仮移転していた23の部署が本館に引っ越します。

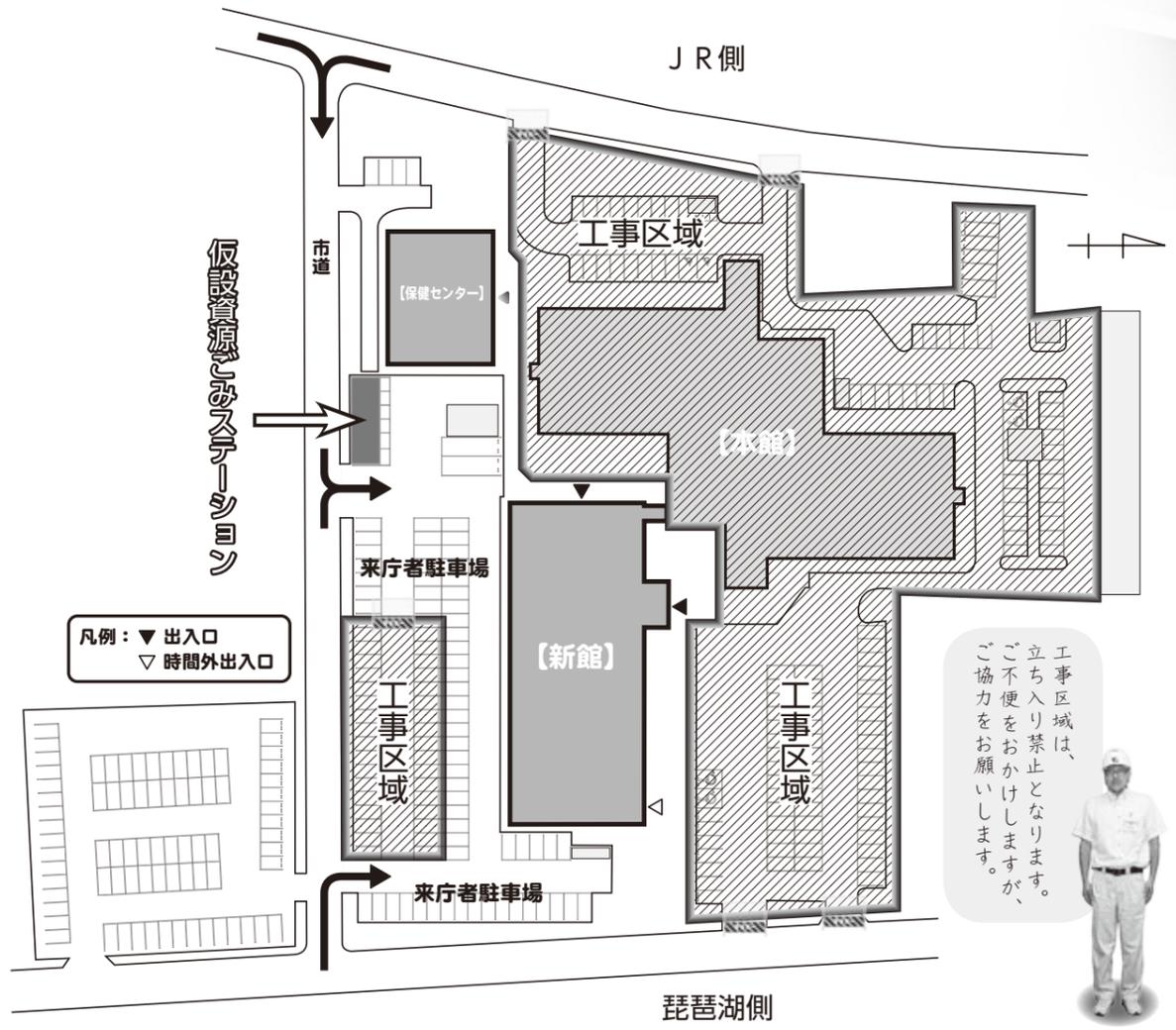
引っ越し③

【平成31年5月上旬予定】
現在安曇川にある都市建設部の各部署が新旭の庁舎に引っ越します。
◎全ての引っ越し完了後の各部署の配置は、今後の広報たかしまでお知らせします。

グランドオープン

【平成31年5月上旬予定】
引っ越し期間中、市民の皆さんをはじめ、多くの方には大変ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますよう、お願いいたします。

本館改修工事中の工事区域と駐車場のご案内





環境に配慮した
高効率空調機器やLED照明を整備

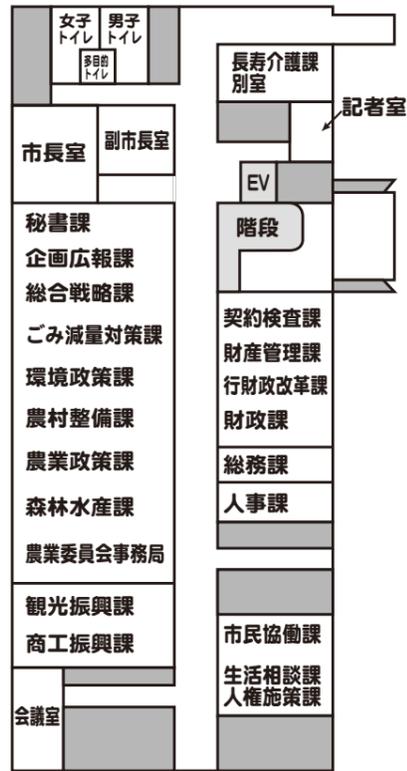
新館2階は、仮引越しで、来年4月までの間は、次の部署を配置します。

- 政策部
- 総務部
- 市民生活部（市民協働課・生活相談課・人権施策課）
- 環境部
- 農林水産部
- 商工観光部

今回は仮引越し

2階フロア配置図

10月15日(月)から業務開始



新館と本館をつなぐ
2階の渡り廊下

新館1階は、誰にでも『利用しやすく』かつ『分かりやすく』そして、迅速で親切的な窓口対応を第一に考え、窓口部署の集約化を図っています。

皆さんの移動を最小限にするため、住民異動や戸籍関係の手続きに加え、結婚や出産、引越しなどのライフイベントに必要な手続きを、可能な限りひとつの窓口で完結できる『総合窓口』を設けています。

また、相談しやすい環境を整えた『福祉関係窓口』や、税の納付・申告などを受け付ける『税関係窓口』を設置しています。

総合窓口

新館部署配置図

平成31年4月までの

新館3階には、災害発生時の危険がせまるときや、市内に災害が発生し、応急対策をとる必要がある場合などに災害拠点となる『災害対策本部室』を配置します。

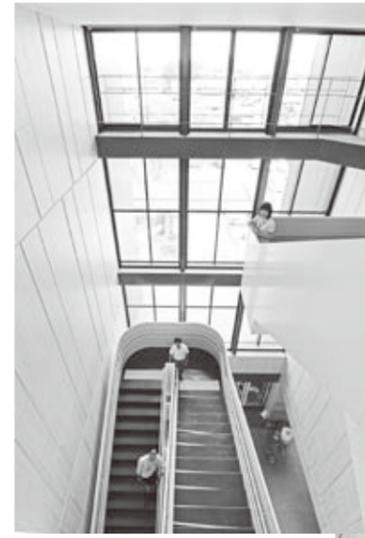
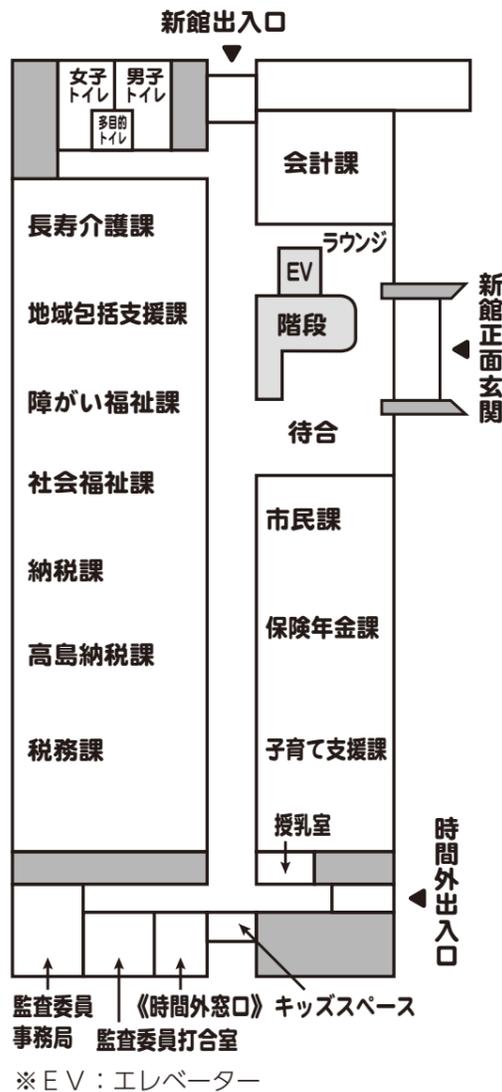
本部会議では、各地区本部（各支所）とテレビ会議システムを通じて、各地区の状況を把握し、即座に指示を出すことができます。また、4面のマルチディスプレイで、河川カメラの映像や気象に関する情報が確認できます。

災害対策本部室の向かい側には、災害警戒（対策）本部を支えるオペレーション室があり、災害警戒や対策にあたる各班や関係機関などが作業を行うスペースが設

庁舎から災害拠点へ

1階フロア配置図

10月9日(火)から業務開始



風が吹き抜け、木の香りがする心地よいエントランス

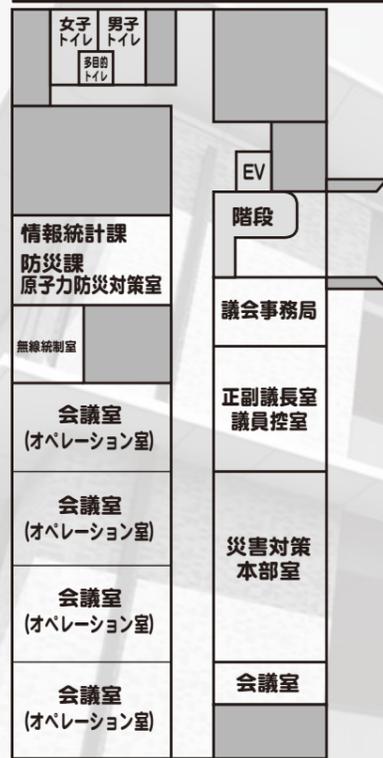


新館エントランスにふさわしい、広々とした吹抜空間で建物内の自然換気を促します。壁面には市内産材のヒノキを使用し、木の温もりを感じることができます。

風の通り道

3階フロア配置図

10月9日(火)から業務開始



周囲の状況を確認しやすい災害対策本部室



移動間仕切壁で広さを調整できる会議室

置されています。なお、平常時には、移動間仕切壁により4室に分割し会議室として利用可能です。

臨時の議場として使用

本館3階の議場を改修するため、来年4月まで、議会の定例会や臨時会、各常任委員会などは、新館3階の会議室で開催します。

柱の少ないオープンフロア



部署の配置が一目で分かるオープンフロア

新館の事務室は、フロア全体を有効に活用できるようにしており、フロア内に一体感を持たせ、開放的なオープンフロアにしています。

平成30年9月4日台風21号襲来 高島市に残した爪痕と支援体制

今年最強の勢力で上陸した台風21号は、四国や近畿の一部を北上し、9月4日(火)13時頃から16時頃にかけて、高島市に最も接近しました。特に今回の台風はすさまじい暴風を伴い、同日15時24分には、市内の今津観測所で最大瞬間風速35.9メートルの観測史上最大の風速を記録しました。
この結果、市内各地で倒木や電柱の倒壊による道路の寸断、さらには長期停電など甚大な被害をもたらしました。



校舎の窓ガラスの破損などによって
マキノ東小学校は2日間休業に



電柱の倒壊で被害を受ける民家
(マキノ町海洋)

【市の初動体制】

市では、台風21号の影響による大雨・洪水注意報が発表された9月4日3時12分に「警戒1号」体制をとり、災害の危険性が予測されたため、同日10時に「災害警戒本部」を立ち上げ、災害発生への警戒体制を強化しました。
台風の接近に伴い、大規模な災害発生のおそれがあると判断し、10時35分に自主避難所を開設し、12時10分に市内各地に「避難準備・高齢者等避難開始情報」を発表し、災害対策に臨みました。



倒木で寸断される道路 (朽木野尻)

【被害状況】

- ▼人的被害 救急搬送・自力通院合わせて18人
- ▼り災証明等確認件数 全壊1件、半壊6件、一部損壊など256件の合わせて*263件
*9月14日17時時点の確認件数
- ▼停電 暴風によって倒木や電線の切断が発生し、市内各地の広範囲で*約12,000軒の停電が発生。
*9月4日20時の関西電力発表軒数
- ▼道路通行規制 県道麻生古屋梅ノ木線の全面通行止めをはじめ、国道303号や国道367号などで部分的な通行止めが発生。

【高島市災害復旧支援本部】

台風が過ぎ去った翌日、少しでも市民の皆さんの安全安心な生活を取り戻すために「高島市災害復旧支援本部」を設置しました。

被害に遭われた方への支援制度

※一部抜粋

▼見舞金・貸付

○高島市り災見舞金
災害により居住する家屋に全壊、大規模半壊、半壊の被害を受けたと認められた場合、その世帯に対し、見舞金を交付します。

▼り災証明

○り災証明書の発行
被害を受けられた世帯に対して、被害の状況を証明する「り災証明書」を納税課および各支所で申請を受け付け、発行します。

▼税金などの減免

○固定資産税の減免
災害により被害を受けた土地、家屋、償却資産の固定資産税の減免を行います。
(条件を満たした場合)

▼住宅支援

○市営住宅への緊急入居
災害により居住不能となった場合に、一時的に市営住宅を提供します。



災害復旧支援本部会議のようす

▼相談窓口

○相談窓口の設置
生活相談課内に、台風被害に関する困りごとなどの相談の窓口を設置します。

その他の支援については、市のホームページをご覧ください。



長期停電世帯への支援

停電が長期に及んでいる地域の世帯に対して、入浴サービスの支援や乾電池の配布を行いました。



グリーンパーク想い出の森「くつき温泉てんこう」



マキノ高原温泉「さらさ」

市長からのメッセージ

台風21号による被害は、建物被害をはじめ農業・水産業被害など、350件以上にのぼり、特に、電線・電柱の損傷によって、長時間に及ぶ大規模な停電が発生し、関西電力滋賀支社の責任者に直接お会いして、一刻も早い復旧を要請いたしました。

今回の長期停電に対して、健康相談などの訪問活動や、入浴のご提供と防災行政無線機などの乾電池の配布、携帯電話などの電源確保のため公共施設開放の支援を行ってまいりました。被災されました方々に対しまして、あらためまして心からお見舞い申し上げますとともに、今後とも引き続き、全面復旧に向けて全力で取り組んでまいります。

福井 正明